

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル鹿児島谷山		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年2月6日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心感をもって通所できている。	職員配置を適切に行い、個別対応が必要であれば行っている。また、職員間での情報共有をしっかりと行い、児童それぞれの特性を把握している。	児童の強みや出来る事を把握してそれを活かしていけるように、声掛けを行っていく。また、自信を持って取り組めるようにしていき、成功体験を重ねていけるように支援していく。
2	活動プログラムが多種多様であること。	その日毎に活動担当を代え、いろんな視点で活動ができるようにしている。また、支援学校の児童も多く在籍しているので活動に応じて分けて行う事もしている。	専門的な要素を取り入れ、活動を通してどのように成長が見られたのか保護者に伝える機会を作っていきます。また、他事業所との交流や地域の活動に参加できるようにしていきます。
3	指導員間の情報共有ができています	毎日の朝礼と終礼において、児童との関わりや事業所運営における意見交換等についての共有、振り返りを行っている。	引き続き指導員間での連携を強化し、建設的な意見交換ができるよう事業所の雰囲気作りに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携	相談事業所とは、モニタリング等で連携をとる事が出来ているが、それ以外の関係機関との連携が出来ていない。	定期的に連絡を取り合っ情報共有を行い、連携を取りやすい体制作りを検討していく。
2	外部研修への参加ができていない	人員体制の関係で参加が困難な状況である。	研修スケジュールに合わせた勤務体制作りができるよう、可能な限り工夫する。
3	保護者会や保護者が交流できる場の提供が出来ていない。	全保護者を対象としたときに会場の確保が難しい事から実施できていない。	他施設にて実施できるよう検討し、使用が可能な場合は案内できる機会を設けていきたい。